



## 『キリストの平和を保ちなさい!』(要旨)

ローマ 12・16~18 説教者 原田憲夫

今週の聖句 ローマ 12・18

\*賛美 [説教前] 讃美歌 21 300 番(1-3 節), [説教後] 讃美歌 21 567 番(1,3,4 節)  
今日の箇所は、私たちの心を支配する「キリストの平和」(コサイ 3・15)

により、私たちの家族、主に在る兄弟姉妹、隣人との間で過ごすようにと勧めます。

## 【1】「互いに一つ心になり」(16)

「一つ心」とは、「同じ心」です。しかし、単に同じ意見/考えとは異なります。

「キリストのからだ」に流れる「キリストのいのち」を、各器官である私たち一人ひとりとともに受け取ることから共有する「キリストの心」だからです。ローマ 12:4-5 参照。

▶「一つ心」を妨げる要因、それは「思い上がり」です。

つまり、他の人を「見下すこと」、-高ぶること、自慢することです。古代社会の話では終わらず、現代社会にも-大人も子どもにも-同じような影を落とす心の部分です。

そういう私たちに対し、

- ・「身分の低い人たちと交わりなさい」
- ・「自分を知恵ある者と考えてはいけません」と注意を促します。すなわち、自分を他の人と「同じ位置」に置くことです。謙虚に生きることです。

私たちはみな「神のかたち」(創 1:27)として造られたかけがえのない「神の作品」「神の前に平等な存在」だからです。このことを忘れているか、軽んじてはいないでしょうか。

▷ですから、様々な違いを超えて「互いに一つ心になり」、ともに主キリストに仕えることが大切なのです!

→ I ペテロ 3:8「最後に申します。あなたがたはみな、心を一つにし、同情し合い、兄弟愛を示し、あわれみ深く、謙遜でありなさい。」

## 【2】「すべての人と平和を！」(17,18)

## (1)「悪に悪を返すな！」

私たちの生まれながらの罪の性質は、やられたらやり返す「仕返し」「復讐」に駆り立てます。幼稚な子供から緻密な計画を練る大人まで、私たちの心の内には「仕返し」「復讐」に駆り立てる闇が潜んでいます。

しかし今日の箇所は、個人的な仕返し、復讐

を禁じます。(この世の秩序を保つために立てられた法的権威に委ねるよう勧めます。13:1 以下参照)

▶ここでの3つの禁止事項;

- (a) 呪うな (12:14)
- (b) 悪に悪を返すな (12:17,21)
- (c) 自分で復讐するな (12:19)

すなわち、言葉と行為において決して個人的な仕返しや復讐をしてはならないのです。→箴言 24:29 参照。

## (2)「すべての人が良いと思うように心がけよ！」

「仕返し」ではなくむしろ積極的に、すべての人の前で良いことを行うよう心がけなさい!

→ I テモテ 5:15「だれも、悪に対して悪を返さないように気をつけ、互いの中で、またすべての人に対して、いつも善を行うように努めなさい。」

## (3)「自分に関することについては、できる限り、すべての人と平和を保て！」

e.g. 山間の村で米を作っていた人の話;

→ I ペテロ 3:9「悪に対して悪を返さず、侮辱に対して侮辱を返さず、逆に祝福しなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです。」(マタイ 5:39ff 参照)

▷「悪に負けてはなりません。むしろ、善をもって悪に打ち勝ちなさい。」(12:21)

## 【勧め】

新しい年度に踏み出しました。4月からは新しい主任牧師とご家族を迎えます。

新たな心でご聖霊の助けによりキリストの平和をしっかりと保ち、十字架に現れた神の愛を、神の家族、身近にまた遠くに居る家族や隣人に対し、言葉と行いを通して示させていただこうではありませんか!

(祈り)

(賛美)

